

令和6年度 体験入学実施要項

1 目 的 中学3年生を対象に、本校の学校生活を紹介するとともに本校が目指す教育についての理解を深めることで、主体的な進路選択の参考に供する。

2 期 日 令和6年8月2日（金）9：00～12：10

3 場 所 本校第一体育館 他

4 対 象 中学3年生で本校への進学や本校総合学科の教育内容について関心のある生徒とその保護者及び中学校教員。

5 日 程 8:30 9:00 9:10 9:30 10:00 10:20 10:50 11:10 12:10

受付	全体 説明	準備 移動	A B	学校紹介 体験授業	移動	体験授業 学校紹介	準備 移動	部活動見学
----	----------	----------	--------	--------------	----	--------------	----------	-------

8：30～ 9：00 受付

9：00～ 9：10 全体説明

9：30～10：00 Aグループ 学校紹介

Bグループ 体験授業

*全体をA・Bの2グループに分け、学校紹介、体験授業を前半後半で実施します。

10：20～10：50 Aグループ 体験授業

Bグループ 学校紹介

11：10～12：10 部活動見学 *自由見学になります。

12：10 アンケートを記入し各自解散 *終わりの全体会はありません。

6 参加生徒の持参物

筆記用具、上履き、下足袋、必要に応じて飲料水（熱中症予防のため）

7 服 装 各中学校指定の体育着（Tシャツ、ハーフパンツ等）

8 参加申込方法

本校ホームページより「令和6年度 木造高等学校体験入学申込書」と「令和6年度 体験入学参加者一覧表」をダウンロードし、必要事項を入力の上、**電子メールに添付しお申し込みください（鑑は不要）。**

また、**保護者の参加人数**もお知らせください。

本校ホームページアドレス <https://www.kizukuri-h.asn.ed.jp/>

申込先の電子メールアドレス nakayama-shin@m04.asn.ed.jp

9 申込締切 **7月5日（金）まで**にお願いします。

10 体験授業の選択について

Aグループ	Bグループ		
【説明会】	【グループワーク】		
・学校の紹介（20分） ・学校行事等の動画（10分）	①木造プロジェクト	②人づくりプロジェクト	③地域づくりプロジェクト
	④産業支援プロジェクト	⑤環境保全プロジェクト	
	【発表】		
	⑥つがる市観光マップ	⑦パパの子育て家事参加	⑧ガシャモクの保全活動
	⑨訪問医療の現状と課題	⑩商業科（課題研究）ビジネスの力で地域活性化	⑪情報（課題研究）果樹選別システムへの挑戦

体験授業では上表のように、全体をA・Bのグループに分け、前半後半で入れ替えを行います。グループワークでは①～⑤の中から中学生は1つのプロジェクトを選択して活動を行います。その後高校生の発表を⑥～⑪の中から2つ選択して見学することになります。

別紙の一覧表の中から【グループワーク】は第1希望と第2希望を選択するようご指導ください。

【発表】は第1希望・第2希望・第3希望を選択するようご指導ください。

＊多数の生徒さんが参加する中学校においては、1つの講座への受講希望者数が20名を超えないように配慮をお願いします。なお、希望人数に偏りがある場合は、第2希望もしくは第3希望になることがありますのでご了承ください。

＊希望選択の決定は、人数調整後にメールにて夏休みに入る前にお知らせします。

- 11 受付について 受付での混雑を避けるため、中学生は各自で順次受付をお願いします。生徒の出欠を確認する場合は、受付係に直接お声掛けしてください。

12 駐車場・送迎について

例年、駐車場が大変混み合います。お車で来校される場合は、体験入学時の送迎について（別紙）をよくお読みになり、可能な限り乗り合いでお越しいただきますようお願いいたします。

また、学校周辺の路上での乗降は、他の車の往来の妨げとなりますので、校門を入り、係の誘導に従って所定の場所での乗降をお願いします。

- 13 その他 ペットボトル等のゴミは各自持ち帰るようお願いします。

(別紙)

体験授業一覧表

【プロジェクトの選択】第1・2希望で2つを選択

*プロジェクト毎にグループワークを行います。

No.	プロジェクト	プロジェクトの活動内容	最大受講人数
①	木造プロジェクト	「学校を良くするための取り組み」 制服問題、学食の利用実態や課題、ICT教育、授業や勉強方法、馬市まつり、学校行事などについて探究していく。	50
②	人づくりプロジェクト	「医療・福祉分野をはじめとする様々な分野に対しての関係人口を増やす取り組み」 子育て支援、高齢者支援、医療支援、防災支援について高校生ができる取り組み、ボランティアなどについて探究していく。	50
③	地域づくりプロジェクト	「地域資源の活用と再発見」 高校生と地元企業との連携事業、イオンと連携しての取り組み、木高Laboでできそうなこと、地域資源の活用事例、姉妹都市との国際交流などについて探究していく。	50
④	産業支援プロジェクト	「地域産業のブランド化、地域産業のPR活動、人材不足の解決に向けた取り組み」 農業支援、観光支援、高校生の商品開発、高校生による地域の魅力創出などについて探究していく。	50
⑤	環境保全プロジェクト	「自然を守る高校生の取り組み」 ガシャモクとは、カーボンニュートラルとは、動物愛護ボランティアなどについて探究していく。	50

【発表テーマの選択】第1・2・3希望で3つを選択

*テーマ毎の発表を聞きます。

No.	テーマ	発表内容	最大受講人数
⑥	つがる市観光マップ	地域の魅力発信およびつがる市への定住を図った木高生オススの観光マップを作成するための探究活動を行いました。	40
⑦	パパの子育て家事参加	パパが出産・子育てに関する理解を深め、子育て・家事に積極的に関わることで、2人目・3人目を産みやすい環境になるのではないか、という仮説を立て、アンケートを実施して検証してみました。	40
⑧	ガシャモクの保全活動	ガシャモクとは絶滅危惧種に指定されている水草。つがる市のあるため池で発見され、その保全活動に協力しています。	40
⑨	訪問医療の現状と課題	「訪問医療リモート会議」から見えた地域医療の現状と課題や、今、地域医療に求められること、実現すべき環境づくりについて探究した成果を発表します。	40
⑩	商業科ビジネスの力で地域活性化	流通ビジネス系列ではビジネスの力でつがる市の活性化に向けた探究活動を行っています。今回はこれまでの取り組みを紹介します。	40
⑪	情報科果樹選別システムへの挑戦	AIを活用し「低コストの果樹選別システム」に挑戦。手作業の多いりんご農家の業務をシステム化する研究を行いました。	40